

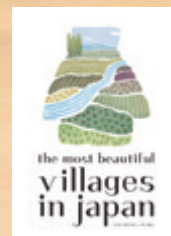
広報 ㊦
No.722
令和6年

いいたて 4

www.vill.iitate.fukushima.jp



ただじゅんさんの
「あそびっこ公演」にて





はやま湖畔を彩る「大倉の桜」。春の空を映す湖面とのコントラストが美しい。そよ風に吹かれて。



大雷神社の桜並木(飯樋地区)。地区をあげての例大祭は3年に1度、通常は5月に開催されます。



「長泥の桜」。地区の中心部に降りて行く峠道(通称・長泥スカイライン)を桜花が埋め尽くします。



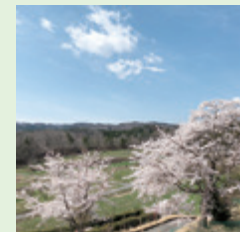
4/13・14
桜まつり
開催予定

會田征男さん・ツタ枝さん夫妻が長年にわたり手入れを続ける「飯館復興の三千本桜」(伊丹沢)。

花の季節の到来です。春の訪れを待ちかねた花々が、次から次に咲き出します。山野の芽吹きも早緑も美しく、そこかしこに春の息吹が感じられます。村内の桜の名所には標高差があり、比較的標高が低いはやま湖畔の「大倉の桜」と、七曲りの峠に咲く「長泥の桜」では、満開の時期に半月ほどの開きがあります。言い換えれば、何度もお花見が楽しめる

ということ。趣きの異なる桜をめぐってみるのもおすすすめです。このページでは桜のスポットに合わせて、村内を彩る春の花々も紹介いたします。場所についてはP18の略地図を参考にしてください。(ご注意ください)私有地や農地に無断で立ち入ることはご遠慮ください。また、運転中とはより写真撮影などの際も、交通事故には十分お気をつけください。

春らんまん! 飯館花だより



ふとした場所の絶景に心踊る春です。

目次 CONTENTS

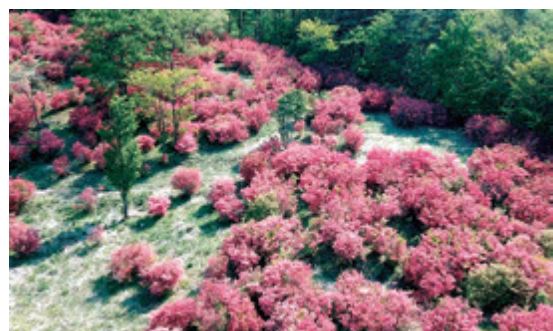
- 02 話題「春らんまん! 飯館花だより」
- 04 特集「令和6年度当初予算と主な事業」
- 08 特集「育てよう まいでいブランド」
- 12 ほけんとふくし「健康・福祉3計画を策定」
- 14 学びの広場「卒業証書授与式・卒園式」
- 15 お知らせ「飯館村役場情報2024」
- 19 報告「ふるさと納税」
- 20 報告「3月議会定例会」
- 22 いいたて便り
- 24 話題のパレット
- 26 村からお知らせ
- 28 いいたてイノサル通信
- 29 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 30 春季全国火災予防運動 ほか
- 31 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 32 ほっとNEWS／公式LINE防災情報



上／大久保金一さん(小宮)のマキバノハナヅノ。下／多田直正さん(宮内)の「小さな花見山」。※個人の敷地は許可を得た場合のみ立ち入りを。



上／前田・八和木地区に点在する菜の花畑。下／「大火山つつじの森」。群生するヤマツツジは例年だと5月中旬が見頃。



「村民の森あいの沢」の水芭蕉。自然豊かなエリアで、四季を通じて貴重な山野草の花も数多く見られます。



村で唯一の自生地で昭和47年に村指定天然記念物に選定された「比曾の水芭蕉」。湿地に可憐な白い花を咲かせます。

木立の中に群生が続く「二枚橋の水芭蕉」。右側に見える木道から観賞することができます。



今月の表紙



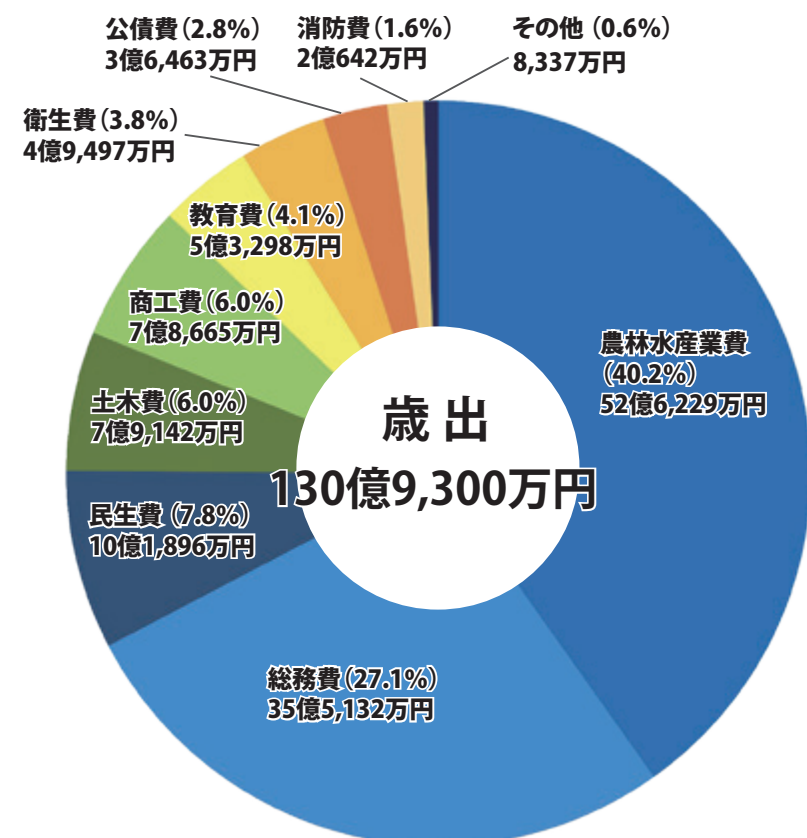
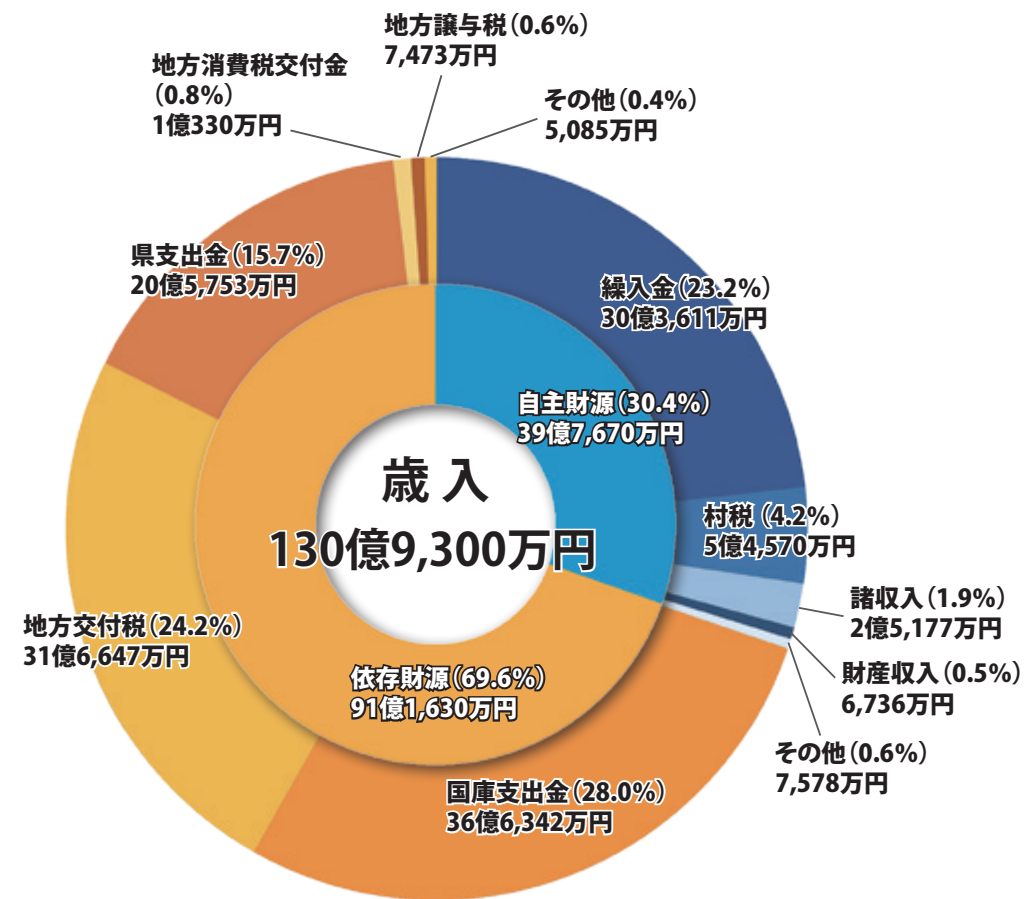
中央の2人がたださん(左)と渋沢さん(右)です。

ただじゅんさんの「あそびっこ公演」が、3月28日、まいでいの里のこども園で開かれました。子ども達は、物語の世界を旅したり、お囃子に合わせて踊ったり、ワクワクの表現遊びを満喫。「なにぬの屋」の渋沢やこさんによる“布でつくった紙芝居”も上演され、合わせて1時間半の公演を存分に楽しんでいました。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。

令和6年度 一般会計当初予算

令和6年度の当初予算案は、飯館村議会3月定例会の予算審査特別委員会(佐藤健太委員長)において審査と採決が行われ、3月15日の本会議にて可決・成立しました。令和6年度の一般会計当初予算と特別会計当初予算、公営企業会計当初予算について、概要をお伝えします。



項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の合計と全体の合計が一致しない場合があります。

令和6年度 一般会計

福祉や教育、消防など住民に対して広く行う各種事業についての包括的な会計です。

令和6年度一般会計当初予算は130億9300万円、対前年度比12.8%減、金額にして19億2500万円の減となりました。

歳入
令和6年度の村の収入総額

村税などの「自主財源」は39億7670万円、歳入全体の30.4%です。一方、国や県からの支出金などからなる「依存財源」は91億1630万円、歳入全体の69.6%を占めています。

歳出
令和6年度の村の支出総額

令和6年度は、国が定める第2期復興創生期間の4年目です。同期間が令和7年度をもって終了することから、令和6年度は、復興に向けた各種事業の達成と確認を行い、令和7年度以降の事業

要望とその後の展開に向けて構想を練る重要な年となります。

令和6年度当初予算の編成にあたっては、期間終了以降も継続する事業、民間活力や新たな担い手に移行する事業、期間終了とともに縮小・廃止していく事業など、将来予測を踏まえた事業の組み立てに注視し、方向を示す予算の検討を行いました。

また、計画している各種事業は、「①次世代・継承」「②なりわい」「③10年後を見据える」「④帰還困難区域」という4つの指標と、「①村民の今を支える取り組み」「②村の将来への布石となる取り組み」の2つの力点をもって、事業の組み立てを行っています。

これらの指標と力点は、令和5年度に見直しを行い再構成した飯館村第6次総合振興計画「後期計画」にも掲げており、計画期間中一貫して取り組む方針です。

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です。

令和6年度 特別会計

- 国民健康保険特別会計…………… 7億5,646万円
- 介護保険特別会計(事業勘定) …… 10億4,246万円
- 介護保険特別会計(サービス勘定) …… 631万円
- 後期高齢者医療特別会計…………… 7,652万円

令和6年度 公営企業会計

- 簡易水道事業会計…………… 2億6,651万円
- 農業集落排水事業会計…………… 1億192万円

※公営企業会計予算額は、収益的支出及び資本的支出の合計。

5つの政策

- ① 生きがいと生業の力強い再生と発展
- ② 健康で生き生きと楽しく
- ④ ふるさと資源のフル活用

- 暮らせるふるさとづくり
- ③ 情報通信技術 (ICT) による新しい村づくり
- ⑤ 生き生きとした学びの場を育む

4つの基本方針と主な施策・事業

① どこに暮らしていても参加して楽しい新しい豊かさを感じる村へ

一人ひとりの関わり合いで力を合わせ拡大させるまでいブランド

- 農業畜産業
 - 農業基盤整備促進事業 (14億6,959万円) 暗渠排水、用排水路の整備等
 - 福島県営農再開支援事業 (6億4,149万円) 農地の地力回復、鳥獣被害対策等の支援
 - 被災地域農業復興総合支援事業 (5億5,655万円) 農地集積に向けた取り組み
 - ふくしま森林再生事業 (3億6,452万円) 森林施業計画の策定、施業実施
 - いいたて魅力向上発信事業 (3,038万円) 都市圏での村製品のPR等
- 商工業
 - 商業施設整備事業 (4億9,002万円) 商業用店舗の整備
 - 産業団地整備事業 (1億5,787万円) 産業団地 (深谷・小宮地区) の整備

資源にひと手間加えて築く 観光以上移住未満の関係

- 観光
 - 宿泊体験館きこり管理運営事業 (7,882万円) 宿泊体験館きこりの管理運営業務
 - 道の駅「までい館」管理運営事業 (3,862万円) 道の駅「までい館」の管理運営業務
 - 村民の森あいの沢整備事業 (2,180万円) あいの沢へのWi-Fi整備など環境の充実

モノや心を分かち合い、ふんわりやっこく迎える村

- 移住
 - 交流・移住・定住等促進事業 (7,506万円) 移住相談窓口業務、移住情報発信業務等
 - 地域おこし協力隊活動事業 (3,759万円) 地域おこし協力隊の活動業務

② ゆったり流れる時間の中で「元気かい？」から始まる心地いい関係のある村へ

食べて笑って楽しい健康づくり

- 健康
 - 総合健診事業 (3,654万円) 各種健診、人間ドックの実施
 - 予防接種事業 (3,025万円) 各種予防接種の実施
 - 訪問診療事業 (1,356万円) 医師による訪問診療等
 - 赤ちゃん誕生祝金事業 (400万円) 新生児誕生を祝う祝金の支給
 - 不妊治療費助成事業 (100万円) 不妊治療費用の助成

「出番」をつくるしかけづくり

- 福祉
 - 村外介護サービス等送迎事業 (5,378万円) 要介護者等を村外の介護サービス事業所等へ送迎
 - サポートセンター運営事業 (4,535万円) サポートセンターつながっぺの運営

未来や心にやさしい環境づくり

- 環境
 - いいたて美しい村づくり推進事業 (69万円) 条例に基づき乱開発を防ぎ美しい村づくりを推進
 - 一般廃棄物処理事業 (5,023万円) 一般廃棄物の収集運搬・処理・処分等

③ いいたてに生きる精神文化を紡ぎ、自らに誇りを持つ村へ

竹のようにしなやかに、石のようにどっしりと、自らに誇りをもつ教育

- 学校教育
 - 子育て応援支援金事業 (1,320万円) 小中学校、高校への進学費用を支援
 - 被災児童生徒等就学支援事業 (806万円) 児童生徒に対する就学費用の助成
 - 幼児就園支援事業 (203万円) 認定こども園園児に対する就園費用の助成
 - 特色ある学校づくり事業 (240万円) ふるさと学習や特色ある教育の推進

ふるさとをみつめ、ふるさとに学び、ふるさとと歩む教育

- 社会教育
 - 希望の里WAKUWAKU Eツアー事業 (2,367万円) 義務教育学校7~9年生を対象にした体験学習
 - 自主文化事業 (164万円) 文化イベント等の開催
 - パークゴルフ場管理運営事業 (1,541万円) パークゴルフ場の管理運営業務

いいたてを語り、いいたてを喰み、いいたてと過ごす文化

- 文化
 - いいたてYOITOKO発見！ツアー事業 (507万円) 村文化遺産等村の魅力を体験するツアーの開催
 - 文化財保護事業 (232万円) 村指定文化財等の保護

④ 足もとからの将来づくりを「支え合い」で進める村へ

自分たちの安全は自分たちで守る強靱な地域防災

- 防災
 - 防犯対策事業 (2,183万円) 防犯カメラの設置、防犯指導隊の活動等
 - 消防団運営事業 (2,277万円) 消防団員の活動費及び屯所、積載車維持等
 - 地域防災センター管理運営事業 (849万円) 地域防災センターの管理運営業務

助け合いで築く 誰もが安心できる暮らし

- 建設
 - 村道維持補修事業 (6億636万円) 舗装機能回復工事等
 - 【新】草野地区移住定住促進住宅整備事業 (2,125万円) 移住世帯向けの住宅整備

連携して課題に立ち向かえる自立した地域

- 行財政
 - みがきあげよう！ふるさと補助金 (1,500万円) 地域の魅力向上につながる行政区主体の取り組みを支援
 - までいな心の復興事業 (1,350万円) 村民の絆を深める活動の支援
 - 【新】コンビニ交付サービス事業 (161万円) 証明書のコンビニ交付サービスの開始



第6次総合振興計画「後期計画」概要版を同封しています。合わせてご覧ください。

〈共通重点項目〉

なりわい人口・住基人口の増加策

第6次総合振興計画「後期計画」での位置付け

※一部「後期計画」の記述を引用

村はこれまで、「農」の再生へ向けて、「生きがい農業」「なりわい農業」など、「農」に取り組む方それぞれの段階に合わせた事業や、ステップアップを推進する農業施策を展開してきました。およそ6年に及ぶ全村避難の後の営農再開は容易なことではありませんでしたが、多くの村民の皆さんに事業をご活用いただき、農業法人の新設や新規参入、個別農家の営農再開や新規就農など、多様な担い手による「農」の取り組みが一步一步進んできました。

村は、今後も一人ひとりの活躍の場を広げると共に、「までいブランド」の確立・拡大を目指す取り組みを通して、「農」に関わる皆さんが希望と誇りを持って働ける環境づくりを推進したいと考えています。また、デジタル技術の導入による生産性の向上も促進していきます。

取り組みの例

- 風評被害を払拭すると共に、飯館の牛やあぶくまもち等をはじめとする飯館村産品の「までいブランド」確立・拡大に努めます。
- 農畜産物等の高品質化・高付加価値化を図ると共に、新たなニーズに応える品目の生産を促進します。
- 飯館村産品の販路拡大を図るとともに、積極的なPRや情報発信に努めます。

震災と原発事故がもたらした困難を乗り越え、コロナ禍に耐えて、現在の飯館村を彩っている産品、商品は、村民の皆さんの努力が形となった「たからもの」。令和5年度は行政においても民間においても、さまざまな形でPRイベントが開催されました。令和6年度はその動きをより豊かに広げ、生産拡大や販路の開拓につながるよう生産者の支援を続けていきます。

震災前の「までいブランド」

震災前、平成19年度～21年度に進められた「いたてまでいブランド確立事業」では、純農村の魅力と、までいに育てた農作物の品質の高さを地域資源として打ち出そうという試みでした。飯館牛のブランド力を高めいっそうの消費拡大を図ること、もち米の特性を生かしたもち加工・米粉加工、さらには米粉パンの開発などを行うこと、ブルーベリー・タラの芽・ふき・銀杏・梅・ジャガイモ・行者ニンニクなどの振興作物から新たな名産品を開発することなどが計画されていました。また、物産展などにも出展して消費地と交流し、販路の拡大も推進しました。

さらに村は、「いたて地産地消ブランド推進協議会」を立ち上げ、「までいマーク」を商標登録。商標掲示の認定を通して、までいブランドの価値を高めました。

1 産業・観光・移住分野

基本方針
どこに暮らしていても
参加して楽しい
新しい豊かさを感じる村へ

村に想いを寄せる方々との新しい
関わり合いや村民の新しい暮らし
を尊重し、新しい豊かさを感じる産
業を作り出す村を目指します。

施策 I
産業 一人ひとりの関わり合いで力を
合わせ拡大させるまでいブランド
観光 資源にひと手間加えて築く観光以
上移住未満の関係
移住 モノや心を分かち合い、ふんわり
やっこく迎える村

1 農畜産業の担い手の確保
2 農畜産業の環境づくり
3 までいブランドの確立・拡大
4 里山の再生と林業の活性化

1 商工業の振興

1 戦略的な観光への取り組み
2 いたてファンの拡大

1 移住・定住の促進
2 交流人口の拡大

震災前、第5次総合振興計画の下で進められた事業のポスター。



育てよう
までい
ブランド

一人ひとりの関わり合いで
力を合わせ拡大させる
までいブランド

力を合わせて、新しい「までいブランド」を育てていきましょう

令和6年度が始まりました。新年度の事業は、第6次総合振興計画「後期計画」の4つの基本方針を柱に、また、5つの政策と組み合わせる形で展開します（詳しくは本紙P67をご覧ください）。この基本方針の「どこにいても参加して楽しい新しい豊かさを感じる村へ」の「施策I 産業」のテーマに掲げているのが、「一人ひとりの関わり合いで力を合わせ拡大させるまでいブランド」です。

震災前の第5次総合振興計画の下で取り組んでいた「いたてまでいブランド」の事業では、村民が心を込めて育てた農産品を認証し、「までいマーク」の商標を付与していました（詳しくは次ページで）。しかしこの取り組みは、全村避難によって中断されてしまいました。

村は、避難中から準備を

進め、避難指示解除の直後から、村民の皆さんと共に、一歩一歩農業の再生に取り組んできました。そして、村民の皆さんの生産活動と並行して、産品の魅力の発信や、新たな特産品の開発を行い、相互の進展に努めてきました。

こうした挑戦を続ける中で、質の高い野菜や花がつけられ、おいしい米や蕎麦がつけられ、飯館産の牛肉が新たな形で提供され、農産品を生かしたさまざまな商品も誕生して村を彩り始めています。

震災を乗り越えてきた産品、新たに生まれた産品、それらを活用したさまざまなアイテムを、大切に育んでいきましょう。「ふるさとの担い手」一人ひとりの取り組みが、賑わいをもたらす、新しい「までいブランド」を形づくっていきます。

さまざまな事業・支援プログラムがあります
まずは産業振興課にご相談ください

● 農地中間管理事業（農地バンク）

農地中間管理事業を活用して土地の貸借契約をすることで、協力金の交付を受けることができます。

- ①地域集積協力金（令和7年度まで※令和7年12月までの契約が対象）
- ②経営転換協力金（令和7年度まで、1戸あたり1回まで）
- ③集約化奨励金（令和7年度まで、集落に対して交付、同一農地に1回のみ）

①～③の交付を受けるには地域計画（下記参照）の策定が要件となっています。そのため令和6年中に集落の話し合いを各地区1回以上設ける必要があります。地域の座談会などの開催にご協力をお願いします。

問 産業振興課農政第一係 ☎0244-42-1621

● 地域計画

農業者の減少や耕作放棄地の拡大が懸念される中、今後の農業を担う人へ農地の集積を進めるために作成することが法定化され、令和6年度末までに策定する必要がある計画です。地域内すべての農地の今後について、村役場も入って話し合い、文章や地図で明確化します。地域計画は、農地中間管理事業や中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金などにも活用されます。

問 産業振興課農政第一係 ☎0244-42-1621

● 電気牧柵等の貸与、堆肥の支給

福島県営農再開支援事業を活用して、電気牧柵等の貸与、堆肥の支給を行っています。毎月末日を締め切りとして取りまとめしており、最終受付は令和6年10月末日までとなっています。どちらも納品までに時間を要する場合がありますので、余裕を持って申請してください。設置及び維持管理・修繕は申請者が行います。堆肥は原則1圃場に1回、1反に1tを基準に支給します。

問 産業振興課農政第二係 ☎0244-42-1625

● 農畜産業にかかる補助事業

福島県原子力被災12市町村農業者支援事業〔3/4補助金〕（県補助）

- ・農機具、ハウス等の導入を支援
- ・事業費上限1,000万円（特任3,000万円）×75%=750万円（2,250万円）

未来へつなぐ農業支援事業（村単独補助）

- ・農業者の技術力向上や省力化、経営規模拡大などの取り組み、優良雌牛導入を支援

問 産業振興課農政第一係 ☎0244-42-1621

● 新規就農者向け農業研修施設を整備

村民の森あいの沢に整備。この夏の運用開始に向けて準備を進めています。

問 産業振興課農政第一係 ☎0244-42-1621

育てよう
「までい
ブランド」

「までいブランド」の確立を目指し、担い手の拡大、農地の拡大、生産性・品質の向上などにつながる支援を続けていきます。



「あぶくまもち」のおむすび
令和5年12月号P13



「ニコニコ菅野農園」
ナツハゼ
令和6年1月号P8



Route 227's Cafe
「いたてフェア」
令和6年3月号P10



めぐりあるきレストラン
「ヒカリノトリ」
令和5年11月号P6



オンライン料理教室
令和6年3月号P10



精肉店「肉のゆーとびあ」
令和5年8月号P28



「いたて雪っ娘かぼちゃ祭り」
令和5年12月号P9



「いたて結い農園」のエゴマ
令和5年11月号P13



「いたての花」
令和5年8月号P4



「バル仙台」
令和6年1月号P5



明治大学「生明祭」
令和6年1月号P7



「飯館産黒毛和牛販売会」
令和5年11月号P25



「ワクワクマルシェ」
令和5年6月号P18

一人ひとりの健康をみんなで支える村づくり

- ① 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- ② 生涯にわたる食育の推進
- ③ いのち支える自殺対策の推進



問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

みんなで健康づくり、頑張りましょう！

飯舘村健康づくり総合計画

村HPで公開 概要版準備中

実施年度 令和6年度～15年度



健康福祉課健康係長 高橋由文

健康・福祉に関する3本の計画を策定しました

村の総合計画に関連する計画のうち、健康・福祉分野の3本の計画を更新して策定しました。計画の策定作業は、策定委員会を中心に進められ、関係機関や連携する市町村との協議、パブリックコメントの募集と回答などを経て、3月に完了しました。

第6次総合振興計画「後期計画」の実現を目指して

飯舘村健康づくり総合計画

村の健康課題に対応し、村民の健康づくりを総合的・計画的に推進するため、自殺対策も含めた新たな10年計画を策定しました。全ての村民が心身共に健やかで心豊かな暮らしを実感できる社会の実現を目指し、「一人ひとりの健康をみんなで支える村づくり」を基本理念に、健康づくりに関する施策を推進していきます。

第10期高齢者保健福祉計画 第9期介護保険事業計画

長期の避難生活と帰村に向けた取り組みに伴い、高齢者福祉及び介護保険事業を取り巻く環境は大きく変化し、村は、そのような経過を踏まえて高齢者福祉施策の推進を図ってきました。前計画の3年間の実施期間終了に合わせて、「ともに ささえあい たすけあい つながろう いいたて」の基本理念を引き継ぎ、新たな計画を策定しました。

第7期障がい福祉計画 第3期障がい児計画

村は、「一人ひとりが健康で安心して暮らせる自分らしさを育む村づくり」を基本理念に、国の制度の改正、障がいのある人の生活や置かれている環境などの変化を踏まえて、障がい福祉施策の推進を図ってきました。これを引き継ぎ、前計画の3年間の実施期間終了に合わせて内容を見直し、新たな計画を策定しました。

「後期計画」との関連

2 健康・福祉・環境分野

基本方針 ゆったり流れる時間の中で「元気かい？」から始まる心地いい関係のある村へ

温かな声かけから始める交流を通じて、生きがいを持って健やかに暮らすことのできる村を目指します。

- 施策II
- 健康 食べて笑って楽しい健康づくり
 - 福祉 「出番」を作るしかけづくり
 - 環境 未来や心にやさしい環境づくり

1 心と身体の健康づくり

2 食による健康づくり

3 医療の確保

1 高齢者福祉の充実

2 子育て支援の充実

3 障がい者福祉の充実

4 生きがい支援の充実

5 人材の確保

1 環境負荷の低減

2 景観・環境美化

3つの計画は「後期計画」と連動し、健康・福祉分野の施策を具体化。

飯舘村健康づくり総合計画

第10期高齢者保健福祉計画
第9期介護保険事業計画

第7期障がい福祉計画
第3期障がい児計画

住み慣れた場所で安心して元気に暮らせるよう支援をつなげていきます。

ともに ささえあい たすけあい つながろう いいたて

第10期 高齢者保健福祉計画

第9期 介護保険事業計画

実施年度 令和6年度～8年度

村HPで公開

- ① 介護保険料に係る標準段階の見直し
- ② 重層的な支援体制の整備
- ③ ヤングケアラーを含めた家族介護者の支援
- ④ 在宅療養支援体制の充実促進
- ⑤ 在宅医療推進事業



問 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633

健康福祉課福祉係 伊藤直美

一人ひとりが健康で安心して暮らせる自分らしさを育む村づくり

- ① 障がい者等の自己決定の尊重と意思決定の支援
- ② 障がい種別によらない一元的な障がい福祉サービス支援の実施
- ③ 地域生活への移行、地域生活の継続の支援、就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備
- ④ 地域共生社会の実現に向けた取り組み
- ⑤ 障がい児の健やかな育成のための発達支援



問 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633

障がいのある方が自分らしく生活できる地域づくりを目指します。

第7期 障がい福祉計画

第3期 障がい児計画

実施年度 令和6年度～8年度

村HPで公開



健康福祉課福祉係 原田 朋

令和6年度版

おしらせ

飯舘村役場情報2024

飯舘村役場の各課・各係の一覧を掲載します。業務内容や連絡先をご確認ください。また4月1日付で人事異動がありました。新年度の体制についても併せてお知らせします。

15ページから18ページまでを、広報から取り外して使うことができます。村内施設の情報もあります。ぜひご活用ください。



3/13 **いいたて希望の里学園**
卒業証書授与式



川俣町の仮設校舎で小学校の入学式を迎え、4年生の時に村内の校舎に戻り、義務教育を終えた9人の卒業生は、「竹のようにしなやかに」立派に成長し、門出を迎えました。

在校生の大島輝琉さんが、「頼もしさと周囲を気遣う心を持つ先輩方のように、人やものとのつながりを大切にできる人でありたい。開校5年目の学校を地域に根ざすよりよいものになりたい」と送辞を述べました。卒業生を代表して答辞を述べた阿部華瑠奈さんは、「『いいたて学』を通して村を想い、真剣に考えた時間は、担い手としての自覚を持たせてくれた。在校生の皆さんと共に成長できたことがうれしい」と涙を流し、会場は大きな感動に包まれました。



3/18 **ままでの里のこども園**
卒園式



園での生活を通して、できることがいっぱいになった11人の園児たち。身体も心も大きく成長し、家族や関係者に見守られ、思い出がたくさん詰まった園舎を巣立ちました。三品勝彦園長先生から二人ひとりに修了証書が手渡されると、大きな声で「ありがとうございます」と受け取りました。

給食では苦手なものも頑張つて食べたり、凶鑑を持ち歩いて分らないことを調べたりと、立派に成長しました。園児たちは凛とした表情で、「たくさんの思い出ができました」「そらぐみのみんなが大好きです」「ぼくたち・私たちはこんなに大きくなりました」と声を合わせ、感謝を伝えました。



令和6年度 村の組織と職員の配置

令和6年4月1日付で、職員の人事異動が行われました。体制は次のとおりです。

※太字になっているのが今回の異動者です。
 ※紙面の都合上、主に正規職員・任期付職員・派遣職員を記載し職名を一部省略します。(新)新規採用職員 (任)任期付職員 (市町村名)派遣職員 (併)他部署との併任



退職者(令和6年3月31日付) 細川 亨 / 高倉常成 / 野崎 遥 / 高橋淳一(任)
 農林水産省復帰 / 松浦 功

飯舘村役場 各係連絡先

総務課	総務係 ☎0244-42-1611	消防・防災、選挙、法令、行政区長会、情報公開等
	財政係 ☎0244-42-1612	予算・決算、入札、地方交付税、寄附金・ふるさと納税の受け付け等
村づくり推進課	企画定住係 ☎0244-42-1613	総合計画、復興拠点整備、広報・広聴、情報通信基盤整備、景観、移住・定住、空き家・空き地バンク等
	商工観光係 ☎0244-42-1620	企業支援、就労・雇用支援、観光関係等
住民課	住民係 ☎0244-42-1618	戸籍、住民票、各証明発行、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、ごみ、防犯、浄化槽、畜犬、マイナンバー等
	税務係 ☎0244-42-1615	地方税の賦課・収納、所得税・住民税の申告相談、各税証明発行等
産業振興課	農政第一係 ☎0244-42-1621	農畜産業振興、就農支援、農地中間管理事業等
	農政第二係 ☎0244-42-1625	営農再開支援事業、長泥地区環境再生事業、獣害対策、モニタリング、林業振興、中山間・多面的事業、土地改良区等
農業委員会事務局	(農政第一係内) ☎0244-42-1621	農業委員会運営、農地法許可申請関係、農業者年金
建設課	建設管理係 ☎0244-42-1624	村営住宅の入退去・維持管理、簡易水道・農業集落排水施設の維持管理等
	土木係 ☎0244-42-1623	村道、橋梁、河川整備・維持管理等
	農業基盤再生係 ☎0244-42-1610	農業基盤整備、農林土木施設の整備・維持管理等
教育課	学校教育係 ☎0244-42-1631	認定こども園、義務教育学校、学童保育、預かり保育、スクールバスの運営等
会計室	☎0244-42-1627	村行政に関する会計業務
議会事務局	☎0244-42-1628	村議会運営に関すること
生涯学習課 交流センター「ふれ愛館」	生涯学習係(交流センター) ☎0244-42-0072	生涯学習事業、青少年事業、男女共同参画、読書推進、文化財保護、伝統文化関係等
	(スポーツ公園管理棟) ☎0244-42-0152	社会体育、スポーツ公園、パークゴルフ場等
健康福祉課 いちばん館	健康係 ☎0244-42-1637	健康増進、成人健診、乳幼児健診、子育て相談、心の相談、予防接種等
	福祉係 ☎0244-42-1633	高齢者福祉、介護保険、介護認定、介護予防、障がい者福祉、児童手当、子育て支援、児童福祉等
	地域包括支援センター ☎0244-42-1626	高齢者総合相談、高齢者権利擁護相談、介護予防ケアマネジメント等



令和6年3月議会定例会は、3月1日から15日までの日程で開かれました。一般質問は5・6日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。
議案審議は15日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。

今議会で可決された議案など

紙面の都合上、一部省略しています

令和5年度 一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6億3162万円増額し、総額176億5712万8千円とする。

飯館村水道条例

飯館村農業集落排水処理施設条例

令和6年度 一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ130億9300万円と定める。

飯館村宮住宅管理条例の一部を改正する条例

令和6年度 国民健康保険特別会計予算

飯館村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

令和6年度 介護保険特別会計予算

飯館村手数料徴収条例の一部を改正する条例

令和6年度 後期高齢者医療特別会計予算

飯館村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

令和6年度 簡易水道事業会計予算

飯館村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

令和6年度 農業集落排水事業会計予算

飯館村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

紙面の都合上、一部省略しています

村長村政報告

能登半島地震 災害派遣

能登半島地震による大規模災害発生に対し、福島県ではかねてより災害時相互協力協定を富山県と結んでおり、村からはこの協定に基づき1月15日から1月21日まで、2名の職員を富山県氷見市に派遣しました。現地では、氷見市の職員及び福島県から派遣された職員とチームを組み、主に被災家屋の被害判定の業務に従事しました。今後も、福島県と連携しながら被災地の復興支援に取り組みしていきます。

飯館村生活応援商品券

物価高騰に対する家計への支援及び地域経済の活性化を目的とした「飯館村生活応援商品券」は、1810世帯を対象として、1世帯あたり3万円分、総額5430万円分の商品券を配付しました。

村民の帰還状況

2月1日現在の村への帰還者は631世帯、1207人で帰還率は

建設関係

村道小滝大倉線の災害復旧工事は、今年の3月末には工事が完了し、4月から通行可能となる予定です。少しでも早い開通に向けて取り組んでいきます。

河川の除草事業は、村で管理している普通河川17路線、延長18.3kmにおいて作業が完了しました。

営農再開支援水利施設等保全事業による「ため池施設」の補修等は、5か所(笠石、仲下、長橋、谷地向、福田)のため池の施設補修を進めており、年度内に完成する予定です。

ため池の放射性物質対策工事は、今年度12か所(市沢第1、野沢、楯柄、沼平、山鳥沢、新堤、佐須、佐須第2、笹峠第2、カヨウ、菅田第1、菅田第2)のため池が完了しました。

農業基盤整備促進事業は、村内16行政区(深谷、佐須、長泥、蕨平を除く)において、各行政区の工事協議担当者や地元住民と密に協議をしながら鋭意進めています。

約25.8%です。これに、震災後の転入者268人と、いたてホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は809世帯で15333人です。
避難を継続している方は、県外に156人、福島市に1973人、南相馬市に278人、伊達市に241人、川俣町に227人など、合わせて2982人です。

マイナンバーカード

国では、ほぼすべての国民がマイナンバーカードを保有するよう目指しており、令和6年秋頃までにマイナンバーカードと健康保険証を一体化する方針が示されています。

1月末現在、村の申請率は8割を超えているものの、交付率は74.5%です。村では、広報紙や全戸チラシによる広報だけでなく、地域サロンや企業等への周知活動、職員による出張申請など、カード取得の推進に向けて、取り組んでいます。

新型コロナウイルス接種

今年度の秋接種については、初回接種を終了している生後6か月以上の方が対象で、そのうち12歳以上については2月までに村内「いちばん館」で集団接種を7回実施

し、1210人の接種が完了しています。「いちばん館」での集団接種と避難先自治体での接種を合わせると、2月27日現在で1836人の接種が完了しています。
出産に対する支援について
妊婦や子育て家庭への支援策として、妊娠時5万円、出産時5万円を給付する「出産子育て応援支援金」に加え、今年度からは新たに出産時に20万円を給付する村独自の「赤ちゃん誕生祝い金」を創設しており、これまでに3名の方に計60万円を支給しています。

あぶくまもち

昨年収穫されたうち約10トンの「あぶくまもち」が、前回に続き株式会社セブンイレブンジャパン協力のもと、おこわおにぎり2商品に加工され、村内ほか県内中通りのセブンイレブン各店舗で販売されました。販売期間を令和5年11月28日から12月25日と予定していましたが、予定より1週間早く12月18日出荷分で完了しました。村では来年度以降もさらに生産量の増加を目指

し、村の特産品「あぶくまもち」の生産を進めていきます。

木質、バイオマス施設等緊急整備事業

プラントの建設工事は予定どおり進捗しており、今年度中に概ね完成の予定です。なお営業運転開始時期については受電工事の関係で、当初令和6年春としていたものが、同年7月に変更となります。今後は4月中旬にボイラーへの火入れを行い、性能確認のための試運転を行うなど、7月からの営業運転開始に向けて準備が進められる予定です。

ふくしま森林再生事業

林業の活性化を図るため、間伐等の森林整備とその実施のための放射性物質対策を行う「ふくしま森林再生事業」について、今年度は草野及び深谷、二枚橋地区において約90haの森林整備事業を発注しています。

また今年度より広葉樹林の再生を目的とした広葉樹林再生事業にも取り組む、宮内地区で2haの森林整備事業を発注しています。



式には(左から)八巻さん、遠藤さん(後ろは妹の心都さん)、鈴木さんが出席。学ぶ姿勢、見習いたいですね。

元気アップポイント事業 4の方が50ポイントを達成

3月18日、交流センター「ふれ愛館」で、『いいたて元気アップポイント事業表彰式』が行われました。元気アップポイントは、生涯学習事業への参加や図書貸し出しの際に付与されるポイントで、獲得ポイントは家族単位で合算することもできます。表彰は50ポイント以上を獲得した方が対象で、今年度は、八巻静枝さん(草野)、鈴木みつ子さん(深谷)、遠藤実結さん(いいたて希望の里学園)、佐藤チヨ子さん(前田)の4人が表彰を受けました。式では、表彰状と共に記念品として、道の駅までい館の商品券5,000円分が贈られました。

世代を超えた交流を創出 スノースポーツ体験

2月25日、あだたら高原スキー場(二本松市)で、『スキー・スノーボード体験教室』を開催しました。主催は、村と「いいたてスポーツクラブ」。対象は村民及びその関係者で、小学4年生以上、中学生、一般から参加者を募集し、スキーに9人、スノーボードに12人の、合わせて21人が参加しました。

講師は「いいたてスキークラブ」とスキー場のインストラクターの皆さんが務めました。参加者は、子どもも大人も世代を問わず交流を深めながら、ゲレンデの上でスノースポーツを思い思いに楽しみました。



かつては「スキー教室」として行っていた冬の恒例イベント。初心者でも楽しく体験することができます。



県内15店舗目で、福島市からの遠隔地に出店するのは初めてです。人材の募集や育成も行っていきます。

株式会社ハシドラッグと 出店基本協定を締結

村は、3月19日、株式会社ハシドラッグ(福島市)と『出店基本協定』を締結しました。村は令和5年4月に同社と『飯館村内の生活環境の向上に関する基本協定』を締結しており、この協定を基に出店に係る協議を行ってきました。締結式で、橋浦希一代表取締役社長(写真右)は、「村民の皆様の生活向上に役立つよう、また、飯館村の素晴らしい魅力を伝えられるよう力を尽くしたい。村外の店舗でも村の農産物を販売したい」と熱い想いを語りました。村も買い物環境の向上やなりわいの創出に今後も力を尽くしていきます。

村を探訪!通算6度目の開催 『飯館YOITOKO発見!ツアー』

3月10日に実施した『飯館YOITOKO発見!ツアー』。山津見神社ではオオカミ天井絵を観ながら美術ライター・橋本麻里さんの講演「日本画における動物描写の歴史」を。佐須集会所では宮城県村田町歴史みらい館・石黒伸一郎館長の講演「東北のオオカミ信仰」を聴講し地域の皆さんとも交流しました。昼食は「氣まぐれ茶屋ちえこ」にて、凍み大根・凍み豆腐・凍み餅の「3凍み」や行者ニンニクの天ぷらなど、早春の飯館の味を堪能。参加者は充実した表情で「歴史などを知ることができ有意義だった」「家族を連れてまた訪れたい」と話していました。



関東や宮城県を中心に31人が参加して、春を迎えつつある飯館を満喫。写真は最後に訪れた「作見の井戸」。



居合わせた子ども達は、それぞれ好きな遊びを楽しみながら、年齢の垣根なく交流していました。

子育て支援センターを開放 思い思いの遊びを楽しんで

3月23日・24日に、飯館村子育て支援センターを開放しました。1月に続く2回目の開放です。

同センターは、子ども達と子育て家庭のためにつくられた施設。震災による開所延期を経て、昨秋からイベントや相談会に活用しています。開放日の施設利用は、0歳の乳児から小学6年生までを対象とし、保護者同伴で自由に遊んでいただきました。

訪れた子ども達は、木製の大型滑り台やボールプール、遊具、絵本、お絵描き、工作、ボードゲームなど、好きな遊びを存分に楽しんでいました。

飯館村男女共同参画講演会

『Story with a fragrance』フレグランス=香り

3月13日、セラピストでフレグランスコーディネーターの山野辺喜子さんを講師に迎え、男女共同参画講演会『Story with a fragrance セルフケアで心と身体を整える』を交流センター「ふれ愛館」で開催しました。山野辺さんは自身のアレルギー改善をきっかけにアロマセラピー・食事療法などを学び、さまざまな出会いを通じて一歩ずつ道を拓き、オリジナルブランド「fragrance yes」の立ち上げに至っています。その道のりを丁寧に語って参加者を惹きつけました。また、質問を受けて会場と対話を深め、参加者からは共感の声も相次ぎました。



(上)村内外から訪れた約30人が聴講した講演会。(左)続いて山野辺さんのワークショップも開催。



上/設立総会の様子。下/参加者が地域の課題やそれぞれの考えを述べ合ったラウンドテーブルディスカッション。



※円卓を囲みテーマについて自由に話し合う議論のスタイル。

『健やかに暮らせるいいたての会』

3月22日、いちばん館で、「健やかに暮らせるいいたての会」の設立総会が開かれました。

この会は、飯館村の現在の状況を踏まえ、健康不安や介護・医療の課題について自由に対話し、「誰一人取り残さない長期的な仕組みづくりを目指そう」と発起人らが設立準備を進めていました。関係団体や専門家とも連携し、福祉・医療・介護に関する活動を実践しながら「将来のビジョンを提言するような働きをしていこう」と考えています。

発起人がこうした趣意を説明し、会の設立を宣言。会長となった小林美恵子さん(前田・八和木)が「一緒に頑張っていきましょう」と、副会長の本田徹医師(伊丹沢)が「村の人が安心して暮らせるコミュニティにしたい」と呼びかけ、入会希望者を募りました。

また、引き続き行われた「ラウンドテーブルディスカッション」には杉岡村長、石井健康福祉課長も加わり、「健やかに暮らすために何が重要か」など3つのテーマで自由に意見を述べ合いました。

掲載行政区に冊子をお届け。左から東大むら塾の松野さん、武田知士さん、長正増夫大久保・外内行政区長。



東大むら塾「行政区ずかん」

“農業×地域おこし”をテーマに活動する東京大学の学生団体「東大むら塾」が、『いいたて行政区ずかん』を発行しました。村の行政区が持つ機能や文化に注目した“飯館部”のメンバーが、令和4年から取材を進めてまとめたもので、区長や区民のインタビューを通して地域の現状を記録することにも注力。第1弾として、全20行政区のうち10行政区の情報を1冊に収めました。「地域の一助になればうれしい」と編集長を務めた松野大河さん。冊子は村内の公共施設に置いて無料配布を行っています。直接入手をご希望の方は、松野さん(☎ 070-1408-2180 / ✉ mattiyama2000@gmail.com)まで。



子ども達へ「本」のプレゼント

2月14日、庄建技術株式会社(南相馬市/鈴木克久取締役会長)から、いいたて希望の里学園の子ども達へ、図書の寄贈をいただきました。古生代から新生代までの生物図鑑、土や海底について楽しく学べる本など、計12冊です。

読書離れが進む現代の子ども達が楽しく本に触れることができるよう、様々な企業の方から本の寄贈をいただいております。子ども達の学びへとつながっています。ご支援をありがとうございます。



までいの里のこども園へ絵本の寄贈

3月14日、戸田建設株式会社東北支店(中村隆浩所長)から、までいの里のこども園へ、絵本57冊(10万円分)を寄贈していただきました。同社は、令和4年度から村内で仮置場復旧工事等を行っており、昨年こども園に絵本を贈ってくださいました。3歳以上児が「たくさん絵本をありがとうございました」とあいさつし、感謝を込めて園歌を歌いました。クラス別に楽しめる絵本や大きい絵本など種類は様々で、子ども達はうれしそうに手に取っていました。

『いいたての草木の色展』

2月25日から29日、旧白石小学校で、「飯館までい文化事業団」が、『いいたての草木の色展』を開催。村内で採取した草木を使い、村民も参加して染色した作品の数々を展示しました。作品には、使用した植物の解説が添えられていて、訪れた人が、自然から生まれた美しい色の競演を楽しんでいました。また、同団体が運営する「いいたて手仕事の会」の作品も合わせて展示。染色したハギレで“くるみボタン”を製作するミニワークショップも開かれました。



飯館地区稲作振興大会(交流センター「ふれ愛館」)

J A 稲作振興大会・花卉セミナーを開催

J A 飯館未来飯館営農センター主催の『飯館地区稲作振興大会』が2月22日に、同センターと村共催の『花卉セミナー』が同26日に開催されました。

『稲作振興大会』が飯館地区で開催されたのは、震災後初めてです。国の方針を踏まえ、相馬地方全体で、飼料用米から主食用米への転換が推進されている中、飯館村でのみ栽培されているもち米「あぶくもち」の生産拡大が提案され、生産者と関係者が意見を交換。「あぶくもち」の復活に取り組んだ生産組合、県、村の他、販売先やJAも「一体となって機運を高めていければ」と今後に向けた話し合いを行いました。

一方の『花卉セミナー』では、北原彰さん(宮内)を講師に、トルコギキョウ栽培の“応用編”となる講義が行われました。北原さんは栃木県那須塩原市で花卉栽培に取り組んでいて、昨年からはセミナー開催にご協力をいただいています。営農センターでは、「村の花弁の品質向上、生産拡大を共に目指していけるよう、生産者に広く参加を呼びかけセミナー等を継続的に開催したい」と話しています。



花卉セミナー(飯館営農センター会議室)

いいたてパークゴルフ場

問 いいたてパークゴルフ場 ☎ 0244-42-1571
FAX 0244-42-1572

3月22日に今シーズンをスタート

「いいたてパークゴルフ場」が冬季休業を終了し、3月22日から今シーズンの営業を開始しました。定休日が毎週水曜日になりましたのでご注意ください。多くの皆様のご利用をお待ちしています。

- **利用時間** 午前9時～午後5時(11月は午後4時まで)
- **定休日** 毎週水曜日
- **コース** 9ホール×2コース 950m パー66
(のびのびコース/レベルアップコース)
- **団体予約** 大会や団体(20人以上の利用は利用日の7日前までに申し込んでください。)
- **使用料金** 1回券500円 11回券5,000円
クラブ(1本)100円 ボール(1個)100円
- **その他** 天候によりプレイが難しい場合は閉鎖します。団体・大会で利用できない場合があります。事前にお問い合わせください。



住民票・印鑑登録証明書 コンビニ交付サービスを開始

問 住民課住民係 ☎ 0244-42-1618

令和6年4月1日から、全国のコンビニエンスストアなどに設置されているマルチコピー機(キオスク端末)で証明書が取得できるようになりました。

- **取得できる証明書** (1)住民票の写し(全部・一部)
(2)印鑑登録証明書
- **サービス提供時間** 午前6時30分～午後11時まで(各店舗の営業時間内)
※年末年始(12月29日～1月3日)、システムメンテナンス時は利用できません。
- **利用可能店舗** セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート等、マルチコピー機(キオスク端末)が設置されている全国のコンビニエンスストア等
- **必要なもの** 個人番号カード(マイナンバーカード)
※「利用者証明用電子証明書」を登録している必要があります。
また、暗証番号(数字4桁)の入力が必要となります。
- **交付手数料** 1件につき200円

コンビニ交付の
利用手順

マイナンバーカード
と暗証番号を用意!

※マルチコピー機の一例です。写真はセブンイレブン。



「行政サービス」にタッチ。画面に従い進みます。マイナンバーカードをタッチ。暗証番号は画面で入力。1件200円。コインを投入して精算します。プリンターから出力される証明書を受け取り終了。

3月の村の動きと主なできごと

- 1日・第1回ゼロカーボンビレッジいいたて実行計画協議会(村役場)
- 1日・3月議会定例会(議場)
- 3日・長泥行政区2組 地域計画策定に向けた説明会(福島市飯坂温泉・摺上亭大鳥)
- 3日・長泥行政区4組 地域計画策定に向けた説明会(長泥コミュニティセンター)
- 4日・農地中間管理事業・地域計画策定説明会(宮内公会堂/大倉集会所)
- 5日・学校運営協議会(村役場)
- 5日・飯館YOTOKO発見!ツアー(佐須地区他)
- 10日・長泥行政区3組 地域計画策定に向けた説明会(福島市飯野町・やなぎや)
- 13日・いいたて希望の里学園卒業証書授与式(いいたて希望の里学園)
(交流センター「ふれ愛館」)
- 14日・介護保険運営協議会(村役場)
- 14日・長泥地区環境回復検証委員会(村役場/オンライン)
- 17日・農地中間管理事業・地域計画策定説明会(伊丹沢集会所)
- 18日・までのりの里のこども園卒園式(までのりの里のこども園)
- 18日・元気アップポイント表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 19日・ハンドラッグ出店基本協定締結式(村役場)
- 19日・農業委員会定例会(村役場)
- 22日・飯館YOTOKO発見!ツアー検討委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 22日・定例教育委員会(村役場)
- 23日・24日・飯館村子育て支援センター開放日(飯館村子育て支援センター)
- 24日・農地中間管理事業・地域計画策定説明会(比曾集会所)
- 26日・美しい村づくり推進審議会(村役場)
- 27日・飯館村文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 27日・飯館村地域包括支援センター運営協議会(いちばん館)
- 27日・スポーツ推進委員会(いいたてスポーツ公園管理棟)
- 28日・退職職員見送り式(村役場)
- 28日・教職員離任式(村役場)
- 29日・長泥地区環境再生事業運営協議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 29日・第2回ゼロカーボンビレッジいいたて実行計画協議会(村役場)
- 29日・わくわく推進協議会(村役場)

戸籍証明書等の広域交付について

問 住民課住民係 ☎ 0244-42-1618

令和6年3月1日から、本籍地以外の市区町村の窓口で戸籍証明書の請求・発行が可能になりました。

- **請求できる証明書** (1)戸籍謄本、除籍謄本
(2)戸籍電子証明書提供用識別符号・除籍電子証明書提供用識別符号
※戸籍抄本やコンピュータ化されていない一部の戸籍謄本、除籍謄本を除きます。
- **請求できる方** 本人、配偶者、父母、祖父母、子、孫に限ります。
※郵送や代理人、委任状による請求はできません
- **必要なもの** 顔写真付きの公的な本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等)
※請求の際は、本籍地(番地まで)を確認のうえ、お越しください。

幼稚園・保育所の沿革 季節保育所から

歴史の散歩道

昭和37年、村は「季節保育所」を開設しました。農繁期の臨時保育所で、当初は草野、飯樋、比曾、大倉地区の4か所で、その後長泥、白石、佐須、小宮地区でも開かれました。さらに常設の要望を受けて、昭和41年には飯樋小学校に、昭和42年には草野小学校に併設の「幼児学級」を開設。これを前身として、昭和43年に草野幼稚園、昭和44年に飯樋幼稚園が設立されました。

体となりました。そして平成23年、震災と原発事故に伴う全村避難で、草野幼稚園を川俣町立川俣幼稚園に、飯樋幼稚園を同富田幼稚園に移設。翌24年には福島市飯野町に仮設園舎を開設しました。「やまゆり保育所」も川俣町の仮設保育所で、子どもと保護者に寄り添う保育を継続しました。多くの子どもとその保護者、歴代の関係者が足跡を刻んだ幼稚園・保育所は平成30年3月に閉園。同4月に、2園と「やまゆり保育所」を合併する形で幼児連携型認定こども園「まていの里のこども園」が設立され、村内での保育が再開されました。こども園には令和6年3月現在43人の園児が通園し、笑顔あふれる園生活を送っています。



仮設園舎では「草野・飯樋幼稚園」として保育を継続。2つの制服、2つの園歌がありました。(平成24年)



季節保育所は公民館などの公共施設を利用し農繁期に開設されました。写真は端午の節句(昭和38年)。

4月23日は「子ども読書の日」です。交流センターにはたくさんのお絵本が揃っていますのでお気軽にお越しください。



福島の旬を届けてくれるタウン情報誌 CJ Monmo。福島県内の新しいもの、美味しいもの、楽しいものなどがたくさん掲載してあります。見るだけでも気持ちがわくわく。4月号には飯館村についても紹介されています。暖かくなってきたのでCJ Monmoを参考にお出かけするのもいいですね。ぜひ手に取って読んでみてください。

定期購読で購入しているのでバックナンバーも貸し出せます



シージャー モンモ 「CJ Monmo」4月号 エス・シー・シー発行 (毎月25日発売)



おすすめ図書を紹介します

ふれ愛館だより

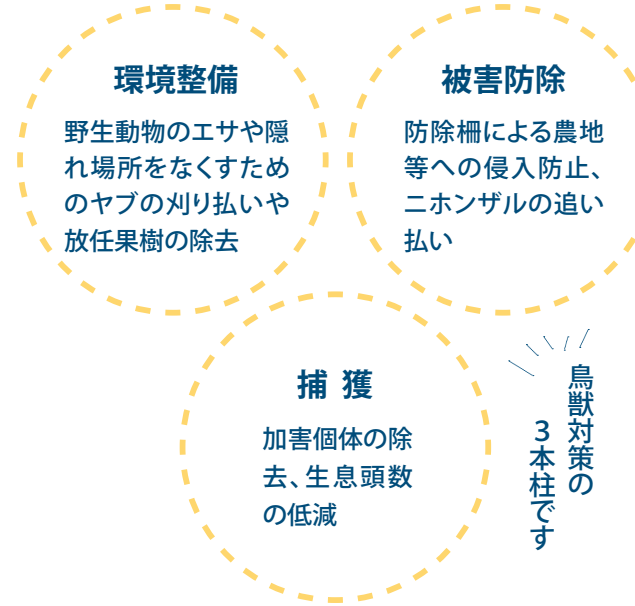
交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

いいたて 12 イノサル通信

令和6年度の鳥獣対策

鳥獣被害対策の3本柱

初回のイノサル通信(広報いいたて令和5年5月号)でもお伝えしましたが、鳥獣被害対策には、「環境整備」「被害防除」「捕獲」の3つの柱があります。それを地域や被害の状況に合わせて組み合わせることで、鳥獣被害に強い地域を作ることができます。



一緒に対策に取り組みましょう

令和6年度も引き続き、鳥獣に強い地域を実現するために、村や地域による対策を支援していきたいと思います!ぜひ、皆さんも研修への参加や、困りごとがあれば相談してください。一緒に鳥獣対策に取り組みましょう。

福島県避難地域鳥獣対策支援員が令和6年度に予定している取り組み

- 防護柵に関する研修会
- 飯館村鳥獣被害対策実施隊との連携
- 伊丹沢モデル地区事業
- イノシシ、ニホンザル等の調査 等々

鳥獣対策について地域で話してみませんか?

「野菜を食べられて、どうやって防げばいいかわからない」「対策をしているのに、効果が出ない」などの困りごとはありませんか?もしあるなら、解決のためにお話する場を作ってみませんか?福島県避難地域鳥獣対策支援員が相談に乗ります!

内容や実施日等については、柔軟に対応します

無料 / 平日夕方や土日祝でもOK / 時間は30分程度から、ご要望に合わせて / 少人数歓迎

お申し込み、お問い合わせは飯館村役場産業振興課農政第二係までお願いします。

問 産業振興課農政第二係 ☎0244-42-1625

昨年度の実施状況(草野地区)



イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからののお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員

てつ や たつ ゆき 鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。

一人ひとりの「思い描く将来」が
実現できるふるさとに

第20回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ



「明日が待ち遠しくなるようなワクワクする楽しいふるさと」は、それぞれの主体性をもった活動によってこそ、築き上げられていきます。誰かが造り上げる未来ではなく、「ふるさと」の担い手たる「自身」が「思い描く将来」にこそ、本当の価値があり、その実現のために村は邁進してまいります。今年5月から8月までに、各行政区、各集会所での住民懇談会を開催してまいります。皆さまの忌憚らないお声を直接お聞かせいただければ幸いに存じます。

「明日が待ち遠しくなるようなワクワクする楽しいふるさと」は、それぞれの主体性をもった活動によってこそ、築き上げられていきます。誰かが造り上げる未来ではなく、「ふるさと」の担い手たる「自身」が「思い描く将来」にこそ、本当の価値があり、その実現のために村は邁進してまいります。今年5月から8月までに、各行政区、各集会所での住民懇談会を開催してまいります。皆さまの忌憚らないお声を直接お聞かせいただければ幸いに存じます。

この3年あまり、新設したわくわく補助金を活用した村内外の方々が主催するイベントや、スタートアップ補助金を活用した起業も増えてきています。また学園生による「いたて学」や多くの大学生による自主的な活動には、目を見張る成果が出てきています。

「明日が待ち遠しくなるようなワクワクする楽しいふるさと」は、それぞれの主体性をもった活動によってこそ、築き上げられていきます。誰かが造り上げる未来ではなく、「ふるさと」の担い手たる「自身」が「思い描く将来」にこそ、本当の価値があり、その実現のために村は邁進してまいります。今年5月から8月までに、各行政区、各集会所での住民懇談会を開催してまいります。皆さまの忌憚らないお声を直接お聞かせいただければ幸いに存じます。

降雪や三寒四温の繰り返しですが、春が目前までやって来ていることを感じさせる3月でした。春は新たな巣立ちの季節でもあります。3月13日には、いたて希望の里学園で卒業式が、18日には、までのりの輝かしい晴れやかな面持ちと確かな成長の姿に心動かされました。「ともに」歩むからこそ、気付き、得られるものがあります。どうぞそれぞれの学校、園での思い出を大切に、大きく羽ばたいていってください。

村では、お子さんのお一人お一人が希望の進路を迷いなく選択し、その若い力をより高められるように「子育て応援支援制度」や「村内に就職をした場合に奨学金の返済を免除・補助する制度」等を新設しています。是非、有効にご活用いただければ幸いです。

19日には株式会社ハシドラッグ様と、村内出店に係る協定を締結させていただきました。村民の皆さまには、2025年(令和7年)春オープンのその時を、ワクワクしながらお待ちいただければ幸いです。

23日は図書館で開催された「ズットフィルム」にて、温かい飲み物やポップコーンを片手に、大きなスクリーンで映画を鑑賞するという贅沢なひとときを楽しみました。今はサブスクリプションでも気軽に映画が楽しめる時代ですが、大スクリーンで集中して観る映画はまた別格のものがありました。今後も村内でこういった機会が増えることを期待しております。

ひとのうごき

おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 隆吉 さん	93	比曾
阿部 キノ さん	103	二枚橋・須萱
穴戸 一郎 さん	87	伊丹沢
長井 幸一 さん	84	関沢
高橋 キクヨ さん	88	長泥
大谷 一彦 さん	79	上飯樋
村山 節 さん	83	深谷
高橋 高好 さん	85	比曾
菅野 昌基 さん	97	草野

ひとのうごき 令和6年3月1日現在

人口	今月(前月比)	2月1日~29日までの人口動態
●男	2,354人(-4)	転入 4人
●女	2,306人(-10)	転出 10人
計	4,660人(-14)	出生 1人
世帯数	1,817戸(+1)	死亡 9人
		(住民基本台帳人口)

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

ご冥福をお祈り申し上げます



期限延長

5/31まで使用できます!
飯舘村生活応援商品券



物価高騰の影響を受けている家計への支援、地域経済の活性化を目的に全戸に配付した『飯舘村生活応援商品券』(1世帯あたり3万円)の使用期限が延長となりました。商品券には使用期限3月31日までと記載されていますが、引き続き5月31日まで使用できます。商品券が使える店舗については、商品券と一緒に送付した取扱店舗一覧でご確認ください。

問 村づくり推進課商工観光係 ☎0244-42-1620



消防飯舘分署からの報告です

3月1日から7日までの1週間、令和6年春季全国火災予防運動が実施されました。飯舘分署では関係機関と合同で、火災時や災害時の対応の重要性を再確認することができ、災害に強い村づくりのための良い一歩となりました。

令和6年春季全国火災予防運動



3月1日 ● スクールバス立入検査

バス後方の非常口が正常に作動するか、消火器が適正に設置されているか等の確認が行われました。



3月3日 ● 防火パレード

村消防団69人が参加し、村内への広報と住宅用火災警報器の設置状況の調査を行いました。



3月4日 ● 合同消防訓練

交流センター「ふれ愛館」で、村職員や消防団が合同で、初期消火訓練や避難誘導、通報訓練、一斉放水などを行いました。



3月6~7日 ● 高齢者世帯防火訪問

村社会福祉協議会や女性消防隊などが、住宅用火災警報器の設置状況や電化製品の使用方法を確認し、非常用持出袋を贈呈しました。

5月号から新コーナーが始まります

「広報いたて」は次号・5月号から一部コーナーをリニューアルします。引き続き村民の皆さんからの情報もお待ちしています。令和6年度も「広報いたて」をどうぞよろしくお願いいたします。

飯館村地域おこし協力隊

コチットの高橋洋介さんが新隊員に



飯館村の食材を生かした『ケーキ』。ブランドの立ち上げには村内企業の合同会社 MARBLING(マープリング)が協力しました。

Cocitto 公式サイト▶



飯館村ならではの食材にこだわる洋菓子ブランド『コチット』の高橋洋介さん(深谷)が、飯館村地域おこし協力隊に就任しました。東京都で仕事をしていた高橋さんが生まれ育った福島にUターンして出会ったのが、飯館村の食材。「飯館らしいお土産にできたら」というリクエストもあり、加工施設「まごころ」で、パウンドケーキの試作を始めました。ナツハゼはクリームチーズ

と。イチゴはピスタチオと。カボチャはクルミと。何十通りもの組み合わせを試し、『ケーキ』のレシピが完成。「食材のおいしさを再発見できるようにお菓子を」と新商品の開発も続けていきます。Uターン当初から、飯館村の地域おこし協力隊になることを希望し、道の駅までい館で働きながら、菓子製造の実績をつつてきた高橋さん。村内に工房を立ち上げたいと、準備を進めています。

ブランド名『Cocitto(コチット)』は、古語の「東風(こち)」と「苞(つと)」を組み合わせた造語です。東風は東から吹く風、苞は藁で包んだものので「土産」の意味があります。『Cocitto』は食材の魅力や背景にある物語をぎゅっと詰め込んだ福島産の贈り物なので



です。準備を整え、商品を「村カフェ753」(左の写真)の店頭にも置かせてもらう予定。「いずれは首都圏へもダイレクトに届けたい」と考えています。



ナツハゼ・夏秋イチゴ・いいたて雪つ娘かぼちゃなど食材の新たな魅力が広がる『ケーキ』。

〈編集後記〉
今号をもって広報から異動となりました。関わってくださったすべての皆様、本当にありがとうございました。取材を通して名前や顔を覚えていただけただけですが本当に嬉しかったです。担当は変わっても、村民の皆さんが主役である「広報いいたて」はこれからも変わらず続いていきます。(大和田)

「今年も桜を見に来てね」「水仙の見頃は4月の中旬だよ」「アジサイを挿し木してここの一面に植えたんだ」。花景色をつくる達人の皆さん。そのままでのいな仕事ぶりに、いつも心を打たれます。先輩方の姿勢に学びながら今年も楽しませていただきます。花巡りのシーズン到来です。(星)

LINE 飯館村公式アカウント



防災情報メールの内容が、公式LINEでも配信されるようになりました。気象警報・注意報や緊急性の高い防災情報をお届けします。

村からの お知らせなどがすぐ分かる



お友達登録はこちらから↑

防災情報の配信がスタートしました

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613